

事業所名	グループホーム もろびと
日付	2009/3/10
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員 介護福祉士 社会福祉主事 認知症ケア専門士 社会福祉主事 介護福祉士 介護支援専門員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症になってもできる限り、普通の家庭的な生活が送れるように心がけています。 ・日常生活でできることは、自分でしていただくように見守っています。 ・季節のものを取り入れたメニューや行事、食事も手作りしています。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> ・台所や玄関に花を生けて季節感を味わってもらっています。台所で調理をしたりする音やおいの感じられる場所の提供、入居者の居室で過ごしてもよいような声かけ等を行っています。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人ですることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームは自然豊かな環境に立地していて、入居者の方は四季の変化を肌で感じながら、のんびり、ゆったりと穏やかに普通の家庭的な生活を送られている。 ・二十四時間対応の訪問看護ステーション、訪問歯科の歯科衛生士によるチェック等の医療連携体制が整っているため、入居者、家族が安心して暮らしている。 ・運営推進会議を活かした取り組みで、町内のお祭り等に参加する事が出来ている。 ・職員は入居者の方が「楽しい我が家」と思って暮らしていただけるような環境づくりをめざし、問題意識をもち、前向きな姿勢で外部研修に参加し、介護技術や知識を習得し、自己研鑽を重ね、質の向上にむけて努力している。 ・「よく気をくばって下さって感謝していると思います」との家族の声がある。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境が整っておられない方が半数近くおられ、家族の声等がなかなか聞かれない状況ですが、入居者一人ひとりの人格を尊重して、わけへだてなくよく支援されています。家族の方に必要書類を送付する際、入居者の日ごろの暮らしぶりや行事でのようすを一言コメントしてみられることを提案しました。

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物を干したり、たたんだり、時には掃除をしてもらったりとそれまでの経験を生かすように心がけています。 ・プライバシーの保護には、入浴の個別化などに取り組んでいます。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用し、個々のサービスに向け努力してもらうようにしています。 ・またミーティングなどで話し合いをしています。 		